

日本語教育の実施状況に関する点検評価チェックリスト
(半年に1回/事務統括者・主任教員実施用)

1. 運用ルール

1. 本チェックリストは、日本語教育の実施状況について、半年に1回、事務統括者および主任教員が共同で点検評価を行うために使用する。
2. 点検時期は、原則として毎年9月および3月とする。
3. 点検は、授業運営、学習成果、学生支援、教職員連携、記録管理、法令遵守、改善状況等について、関係書類および実施状況の確認に基づいて行う。
4. 各項目は、A(適切)・B(おおむね適切)・C(やや改善が必要)・D(未実施)の4段階で評価する。
5. CまたはDの項目については、改善内容・担当者・期間を記載し、次回点検時に改善状況を確認する。
6. 点検結果は管理者に報告し、教育活動および学校運営の改善に活用する。
7. 点検結果、改善計画、確認記録は保存し、継続的改善に資する資料とする。

2. 点検基本情報

点検実施日：2026年3月9日
 点検対象期間：2025年10月～2026年3月
 点検実施者（事務統括者）：
 点検実施者（主任教員）：

3. 評価基準

- A：適切
 B：おおむね適切
 C：やや改善が必要
 D：未実施

4. 点検評価表

No	点検項目	評価	コメント・確認事項
1	点検評価の実施体制・担当者が明確である	A	-
2	点検評価の実施時期・方法が定められている	A	-
3	教育課程・授業計画が整備されている	A	-
4	学習内容・成績評価基準が学生・教員に周知されている	B	一部確認
5	出席簿・授業記録簿・成績記録が適切に作成・保存されている	A	
6	欠席者・学習不振者への対応記録がある	A	
7	学生アンケートや意見聴取を実施している	D	見直し
8	点検評価の結果が授業改善・教育改善に反映されている	B	教材変更後、教員改善に反映されている旨の記載あり
9	教職員間の情報共有・会議記録・研修記録が整備されている	B	ミーティング1～2回/月
10	学生生活・進路・在留等に関する支援体制が整備されている	A	2人担当
11	災害・事故・疾病等への対応体制が整備されている	B	判読困難箇所あり（体制整備に関する記載）
12	関係法令・学則・認定基準に基づき適切に運営されている	A	週1回・1時間半
13	必要な届出・報告・情報公開・文書保存が適切に行われている	C	入管報告他、情報公開の内容
14	前回点検時の改善事項が実施・確認されている	C	次年度実施予定

5. 総合所見

良好な点
 点検評価の実施体制、実施時期・方法、教育課程・授業計画・記録保存、支援体制等については、おおむね適切に実施されている。
 特に、出席簿・授業記録簿・成績記録の管理、学生支援体制については、継続的に運用されていることが確認された。
 課題・改善が必要な点

学生アンケートや意見聴取の実施については見直しが必要であり、点検評価への反映方法を明確にする必要がある。
 また、必要な届出・報告・情報公開の内容整理、および前回改善事項の実施確認については、次年度に向けた具体的対応が必要である。

6. 改善計画

改善対象項目	改善内容	担当者	期限	確認結果
学生アンケート・意見聴取	実施方法を見直し、定期的な回収・分析の仕組みを整備する	主任教員・事務統括者	次回点検まで	
情報公開・届出・報告	入管報告、情報公開内容、必要文書の整理と確認を行う	事務統括者	次回点検まで	
前回改善事項の確認	改善事項の実施状況を一覧化し、次年度に確認できよう記録化する	主任教員・事務統括者	次年度開始まで	

7. 確認欄

事務統括者確認：韓
 主任教員確認：磯崎
 管理者確認：

